

## 研究テーマ「ボディパーカッション de インクルーシブ教育」

ボディパーカッション教育は“すべての子どもたちが楽しめる”インクルーシブな教材です！

インクルーシブ教育とは、子どもたち一人ひとりが、障害の有無にかかわらず、誰もが自分に合った合理的配慮を受けながら、通常学級で学べることを目指し実践を行うことです。ボディパーカッション教育研究会は「障害の有無や軽重にかかわらずみんなで一緒に楽しく学ぶ教育」を目指しています。すべての子どものための教育活動をボディパーカッション教育で実現したいと願っています。

本研究会では、実践講座（ワークショップ）を、ボディパーカッション教育考案者の山田俊之が行い、特別支援の教育現場で活躍されている先生方がボディパーカッションの教育実践を発表いたします。それを受けて、文部科学省特別支援教育調査官の田中裕一先生に、理論講座「インクルーシブ教育システムの重要性と合理的配慮」と題し、ボディパーカッション実践発表の内容を踏まえて、インクルーシブ教育システムについてご講話を頂きます。

さらに、シンポジウムでは、音楽教育の津田正之先生（国立音楽大学教授・前文部科学省教育課程調査官）と、スクラムハート代表の山田淳司先生（厚木市立北小学校校長）に入って頂き、平成29年告示の新学習指導要領に基づき音楽教育の視点からも解説や実践事例を考察して頂きます。

ボディパーカッション教育振興会  
代表 山田俊之

- 日時 2019年10月13日（日） 10:30～17:00（受付：10:00～）
- 会場 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟416号室）予定  
アクセス：小田急線参宮橋駅より徒歩7分  
京王バス新宿駅西口16番乗車（約15分）「代々木5丁目」下車
- 参加費 一般：2,000円、学生：無料（楽譜教材、研究会資料冊子代1000円…希望者のみ）
- 講師  
特別講師 田中裕一氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課・特別支援教育調査官  
特別講師 津田正之氏 国立音楽大学教授、前文部科学省初等中等教育課程課教科調査官（音楽教育）  
講師 山田俊之 九州大谷短期大学教授、ボディパーカッション教育考案者、研究会代表  
講師 山田淳司 神奈川県厚木市立北小学校校長、神奈川県小学校校長会副会長  
「ボディパーカッション教育」指導者団体「スクラムハート」代表
- 主催 NPO法人ボディパーカッション協会、ボディパーカッション教育振興会
- 申込先 [body@tebyoushi.com](mailto:body@tebyoushi.com) 問い合わせ：TEL 090-8419-6219（山田）

\* 参加希望の方は連絡先（メール）に、氏名、職業または職種、（学生の場合は大学名・学年）、連絡先等を送信してください。

### 7 内容

- 開会行事 10:30～
- ワークショップ①：「基礎から学ぶ、ボディパーカッション教育」10:40～11:40（60分）  
講師：山田俊之  
内容：「リズムのコール&レスポンス」で導入を行ない、ボディパーカッション入門曲「花火」「手拍子の花束」を使って、インクルーシブ教育に役立つ実践例を、参加者とワークショップします。
- ワークショップ②「発達障害とボディパーカッション教育&パフォーマンス演奏」12:40～13:30（50分）  
講師：山田俊之、スクラムハート（パフォーマンス）  
内容：発達障害、聴覚障害、知的障害の子ども達のボディパーカッション映像や指導法を説明いたします。また、ワークショップ①で行った、「花火」「手拍子の花束」を使った発展バージョンを、認定指導者団体「スクラムハート」のメンバーが演奏します。

- (4) 実践発表「特別支援教育におけるボディパーカッション教育実践について」13:40~14:40 (60分)  
井上彩香さん(聴覚障害者の立場から、ボディパーカッション認定指導者として指導実践を行う。)  
増田真佐子先生(横浜市立特別支援学校勤務)  
松尾まりこ先生(三重県立特別支援学校勤務) \*各発表者約20分  
内 容: ボディパーカッション教育教材を活用し、特別支援教育での実践例を発表。

- (5) 理論講座「特別支援教育におけるインクルーシブ教育システム」(講話) 14:50~15:40 (\*50分)  
講 師: 田中裕一先生  
内 容: 実践発表内容を踏まえ、特別支援教育におけるインクルーシブ教育システムと合理的配慮の重要性について話して頂き、ボディパーカッション教育の効果にも触れて頂きます。

- (6) シンポジウム「ボディパーカッション活動とインクルーシブ教育システムについて」15:50~16:50  
(\*60分)

インクルーシブ教育システムにおける合理的配慮と音楽教育の有効性を、特別講師の田中裕一先生、津田正之先生を交えて新学習指導要領に基づき話して頂きます。また、インクルーシブ教育システム研究校の小学校校長として、山田淳司先生をお迎えしてシンポジウムを行います。

<パネラー>

- ・ 田中裕一氏(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課・特別支援教育調査官)
- ・ 津田正之氏(国立音楽大学教授、前文部科学省初等中等教育課程課教科調査官:音楽教育)
- ・ 山田淳司氏(厚木市立北小学校校長、ボディパーカッション教育認定指導者「スクラムハート」代表)

<コーディネーター>

- ・ 山田俊之(九州大谷短期大学教授、ボディパーカッション教育考案者)

- (7) 閉会行事 諸連絡 16:50 17:00 解散

## 8 講師紹介

### 【特別講師】



#### 田中 裕一 先生

文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官(発達障害専門)  
大学卒業後、企業に就職して社会人野球チームに所属 知的障害者の施設での勤務後、兵庫県立の知的障害特別支援学校の教師に。務める傍ら、兵庫教育大学大学院を修了し、国立特別支援教育総合研究所 特別研究員として研究を行う。その後、兵庫県教育委員会指導主事を経て現職。特別支援教育士スーパーバイザー。



#### 津田正之 先生

国立音楽大学教授、博士(音楽)。北海道公立小学校教諭、琉球大学教育学部准教授、文部科学省教科調査官等を経て現職。ボディパーカッション教育については、20周年記念研究発表会(2006年・福岡)、25周年記念研究発表会(2011年・東京)で音楽科の学習指導要領に基づいた講話やシンポジウムを担当して頂く。著書多数。

### 【講師(シンポジウム)、ボディパーカッション教育振興会】



#### 山田俊之

九州大谷短期大学教授。九州大学大学院博士後期課程満期修了。(教育学)。1986年、小学校教師の時“キレる子ども”きっかけにボディパーカッション教育を考案。その後30年以上、ボディパーカッション教育の普及に努める。2005年小学校音楽科教科書に「火花」、2013年文部科学省編集の特別支援教育用教科書に「手拍子の花たば」が採用される。主な著書「ボディパーカッション入門」他。ボディパーカッション教育振興会代表。



#### 山田淳司

厚木市立北小学校校長。厚木市教育研究所所長、教育委員会指導主事等を歴任。ボディパーカッション教育講座を継続して受講し、実践研究を行っている。毛利台小学校校長の時、神奈川県で「インクルーシブ教育研究指定」を受け、関東地区校長会等で発表、取り組みの実践を「初等教育技術」(小学館)で紹介される。神奈川県小学校校長会副会長。現在、ボディパーカッション教育指導